

地域交通における今後の展開に係る検討について

1. 背景・目的

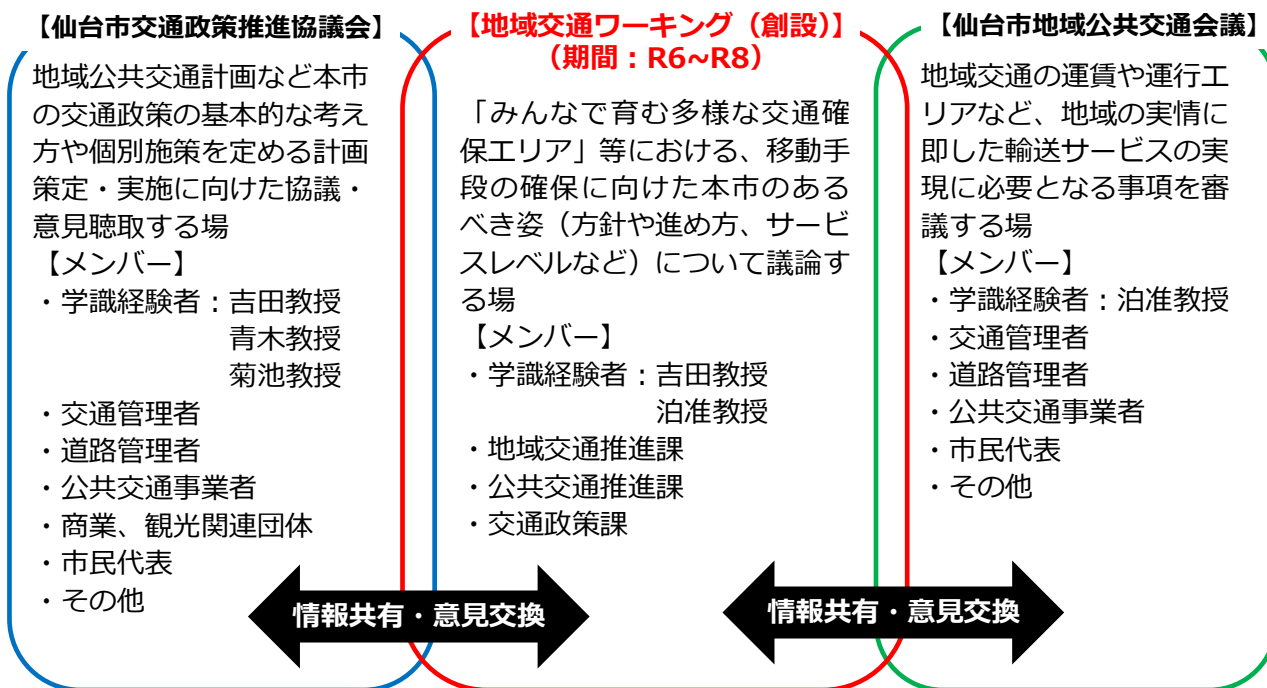
令和3年度の燕沢地区の本格運行を始め、今年度は新たに4地区での試験運行の開始を予定しており、それらを含めると計9地区で地域交通が導入されることとなる。

地域交通の導入を行っている中で、様々な課題が浮き彫りになってきており、新たに試験運行を開始する地区や、今後、地域交通の導入を検討していく地区も含め、市民の持続可能な移動手段の確保に向けた検討を行うフェーズとなってきている。

そこで、令和8年度末に見直しを予定している仙台市地域公共交通計画に合わせた、持続可能な移動手段の確保に向け、本業務は、地域交通も含めた本市の方針や取り組みの進め方、対象エリア、サービスレベルなどについて検討するものである。

2. 検討体制と合意形成プロセス

本市の交通に関する計画や施策、具体の運行などについて協議等を行う場である、仙台市交通政策推進協議会及び仙台市地域公共交通会議の委員である学識経験者と本市交通関連課からなる、地域交通ワーキングを立上げ、各会議への情報共有や意見交換を重ね、本市の持続可能な移動手段の確保に向けた検討を行う。(下図参照)



図：検討体制及び合意形成プロセス

※必要に応じて公共交通事業者や関係団体等へのヒアリング・ワーキングへの出席を依頼。

3. 今後のスケジュール

令和6年度：基礎調査及び現状分析等

令和7年度：業務委託による課題等の詳細分析・課題整理・とりまとめ

令和8年度：業務委託による交通体系や地域交通のあり方について検討・とりまとめ